

平成26年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月12日

上場取引所 東

上場会社名 総合商研株式会社

コード番号 7850 URL <http://www.shouken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 加藤 優

問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部部长

(氏名) 太田 健一

TEL 011-780-5677

四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第3四半期の連結業績(平成25年8月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第3四半期	12,974	1.4	493	12.8	500	7.3	308	11.9
25年7月期第3四半期	12,797	13.3	437	18.6	466	22.8	276	61.0

(注) 包括利益 26年7月期第3四半期 353百万円 (△4.8%) 25年7月期第3四半期 370百万円 (70.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第3四半期	104.63	—
25年7月期第3四半期	93.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年7月期第3四半期	8,445		2,192		25.9	
25年7月期	7,254		1,859		25.6	

(参考) 自己資本 26年7月期第3四半期 2,187百万円 25年7月期 1,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	7.00	—	8.00	15.00
26年7月期	—	7.00	—		
26年7月期(予想)				8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年7月期の連結業績予想(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	16,000	4.9	270	18.7	300	15.0	180	13.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年7月期3Q	3,060,110 株	25年7月期	3,060,110 株
26年7月期3Q	54,562 株	25年7月期	104,521 株
26年7月期3Q	2,952,339 株	25年7月期3Q	2,955,680 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要や政府、日銀による経済対策及び金融政策の効果などを背景に、緩やかな景気回復の動きが見られました。一方で、海外景気の下振れリスクが、わが国の景気を引き続き下押しする不確実性となっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが位置する印刷業界におきましては、企業の広告宣伝需要は徐々に回復してきたものの、資材価格や燃料費などの値上げによる原価高や、デジタル化の波に合わせ宣伝手法が紙媒体から電子媒体へ移行し始めるなど厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは多様な販促手法の提案による受注拡大を目指すとともに、年賀状印刷受注増加に対応すべく事業の運営に努めてまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,974百万円（前年同四半期比176百万円増）となりました。

利益につきましても、年賀状の販売が好調に推移した結果、営業利益は493百万円（前年同四半期比56百万円増）、経常利益は500百万円（前年同四半期比34百万円増）、四半期純利益につきましてもは308百万円（前年同四半期比32百万円増）と、それぞれ増益となりました。

なお、当社グループの利益は、第1四半期は年賀状印刷の資材・販売促進費等の先行支出により低下、第2四半期は年賀状印刷の集中及び商業印刷の年末商戦の折込広告の大量受注により売上が拡大することにより増加、第3四半期・第4四半期は年賀状印刷事業は固定費のみが発生することにより、売上高に対する経費割合が高くなり利益が低下するという季節的変動があります。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

## (商業印刷事業)

商業印刷事業においては、新規営業の強化や、既存クライアントとの取引拡大の推進を行ってまいりましたが、既存顧客の販売予算縮小等により、当事業の売上高は7,864百万円（前年同四半期比46百万円減）となりました。

利益につきましては、外注費の削減や減価償却費の減少により、営業損失は47百万円（前年同四半期の営業損失は143百万円）となりました。

## (年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業においては、パック年賀状の取扱件数が497万パックと前年同四半期比1万パックの増加となり、名入れ年賀状の取扱件数につきましては、前年同四半期比8万件増加の141万件となったことから、当事業の売上高は5,072百万円（前年同四半期比221百万円増）と、増収となりました。

利益につきましては、生産体制強化のため人件費が増加し、営業利益は786百万円（前年同四半期比40百万円減）となりました。

## (その他)

その他においては、プリントハウス北3条店を時計台ビルに移転し、設備投資も行ったためコストが増え、売上高は36百万円（前年同四半期比2百万円増）、営業損失は9百万円（前年同四半期の営業損失は5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は8,445百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,191百万円増加しました。これは主に現金及び預金が467百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が423百万円増加したこと、原材料及び貯蔵品が24百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は6,252百万円となり前連結会計年度末に比べ858百万円増加しました。これは長期借入金が529百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が248百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は2,192百万円となり前連結会計年度末に比べ333百万円増加しました。これは主に利益剰余金が264百万円増加したこと、有価証券評価差額金が42百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月期の業績予想につきましては、平成25年9月12日付「平成25年7月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,246,724	1,714,209
受取手形及び売掛金	1,489,154	1,912,583
商品及び製品	3,572	11,859
仕掛品	12,472	19,589
原材料及び貯蔵品	550,512	575,179
その他	120,721	185,449
貸倒引当金	△11,742	△13,774
流動資産合計	3,411,415	4,405,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	679,643	666,813
土地	1,010,099	1,010,099
その他(純額)	984,143	1,128,096
有形固定資産合計	2,673,886	2,805,009
無形固定資産		
その他	155,922	138,993
無形固定資産合計	155,922	138,993
投資その他の資産		
投資有価証券	617,050	689,064
関係会社株式	18,363	18,839
その他	410,606	433,081
貸倒引当金	△32,529	△44,170
投資その他の資産合計	1,013,490	1,096,814
固定資産合計	3,843,299	4,040,817
資産合計	7,254,715	8,445,915
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,175,317	1,423,383
短期借入金	1,192,932	1,063,952
未払法人税等	54,135	188,811
賞与引当金	16,438	35,661
その他	460,290	560,684
流動負債合計	2,899,114	3,272,492
固定負債		
長期借入金	1,933,551	2,463,260
資産除去債務	7,756	7,878
その他	554,463	509,294
固定負債合計	2,495,771	2,980,433
負債合計	5,394,885	6,252,926

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,920	411,920
資本剰余金	441,153	453,546
利益剰余金	848,041	1,112,758
自己株式	△29,184	△17,348
株主資本合計	1,671,930	1,960,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,817	226,796
その他の包括利益累計額合計	183,817	226,796
少数株主持分	4,081	5,315
純資産合計	1,859,829	2,192,989
負債純資産合計	7,254,715	8,445,915



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年4月30日)
売上高	12,797,584	12,974,122
売上原価	9,174,108	9,143,148
売上総利益	3,623,476	3,830,973
販売費及び一般管理費		
運賃	691,511	699,072
給料及び手当	1,088,615	1,119,284
貸倒引当金繰入額	—	6,236
賞与引当金繰入額	27,333	28,768
その他	1,378,936	1,484,437
販売費及び一般管理費合計	3,186,396	3,337,800
営業利益	437,080	493,173
営業外収益		
受取利息	98	776
受取配当金	3,596	3,935
受取手数料	23,663	24,895
受取賃貸料	11,151	12,079
作業くず売却益	13,826	13,395
持分法による投資利益	1,002	476
貸倒引当金戻入額	15,087	—
その他	7,069	4,844
営業外収益合計	75,496	60,402
営業外費用		
支払利息	45,157	43,199
貸倒引当金繰入額	—	7,436
その他	1,028	2,499
営業外費用合計	46,186	53,135
経常利益	466,390	500,439
特別損失		
固定資産除却損	936	131
投資有価証券評価損	6,987	—
特別損失合計	7,924	131
税金等調整前四半期純利益	458,466	500,307
法人税、住民税及び事業税	216,486	229,302
法人税等調整額	△35,091	△39,146
法人税等合計	181,395	190,156
少数株主損益調整前四半期純利益	277,070	310,151
少数株主利益	953	1,234
四半期純利益	276,117	308,917

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	277,070	310,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93,705	42,978
その他の包括利益合計	93,705	42,978
四半期包括利益	370,776	353,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	369,823	351,896
少数株主に係る四半期包括利益	953	1,234

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年8月1日 至 平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,911,653	4,851,272	12,762,926	34,658	12,797,584	—	12,797,584
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,251	3,175	11,426	2,578	14,004	△14,004	—
計	7,919,905	4,854,447	12,774,352	37,236	12,811,589	△14,004	12,797,584
セグメント利益 又は損失(△)	△143,637	827,565	683,927	△5,574	678,353	△241,273	437,080

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△241,273千円には、セグメント間取引消去3,846千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△245,120千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年8月1日 至 平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,864,778	5,072,593	12,937,371	36,750	12,974,122	—	12,974,122
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,974	3,209	13,184	2,918	16,103	△16,103	—
計	7,874,752	5,075,803	12,950,556	39,669	12,990,225	△16,103	12,974,122
セグメント利益 又は損失(△)	△47,119	786,870	739,751	△9,849	729,902	△236,728	493,173

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△236,728千円には、セグメント間取引消去9,601千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△246,330千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。